

別表 環境への負荷の自己チェック表 【産業廃棄物処理業者向け】

<自己チェック表の構成等>

- 事業活動に伴う環境負荷について、本チェック表（Excelファイル）を基に把握してください。
- 環境負荷のうち、二酸化炭素排出量（エネルギー使用量）、受託、または受領した産業廃棄物の処理量、一般廃棄物排出量等、産業廃棄物排出量等、水使用量、化学物質使用量は必ず把握してください。
また、エネルギー使用量料金、廃棄物処理費用等についても入力し、どの程度のコストがかかっているかを把握してください。
- 本チェック表は、以下の10シートから構成されています。「入力の手順等」を参考に、必要な数値、項目名、単位等を入力してください。
 - ・ 自己チェック表の構成・入力の手順等（本シート）
 - ・ 1. 事業の規模
 - ・ 2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）：二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量等を一表に取りまとめる表
 - ・ 3. エネルギー使用量
 - ・ 4. 受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量等
 - ・ 5. 一般廃棄物排出量等
 - ・ 6. 産業廃棄物排出量等
 - ・ 7. 水使用量及び総排水量
 - ・ 8. 化学物質使用量
 - ・ 9. 資源使用量

<入力の手順等>

- ① 環境負荷を把握する期間（年は西暦）を入力してください。1年間の環境負荷データを入力できます。入力した期間は、2～8の各シートの青色のセルに自動で入力されます。

開始年月：	2024	年	6	月
終了年月：	2025	年	5	月

※原則として1年間の環境負荷データを入力しますが、1年未満の期間で入力することもできます。

- ② 各シートのセルに数値、項目名、単位等を入力してください。既に入力されている単位については、必要に応じて変更してください。
黄色のセル は、自動で合計値等が入力され、「2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に自動で入力されます。
- ③ 各シートで行、列の挿入や削除をすると、青色及び黄色のセルに設定している計算式等がずれることがありますのでご注意ください。

1. 事業の規模

○ エネルギー使用量等の環境負荷の総量のデータを原単位で把握するために用います。

指標	単位	対 象 期 間				
		(2020年 6月～2021年 5月)	(2021年 6月～2022年 5月)	(2022年 6月～2023年 5月)	(2023年 6月～2024年 5月)	(2024年 6月～2024年 5月)
従業員数	人	27	27	26	26	30.00
売上高	万円	18,332	186,35	196.84	195.10	201.91
事務所床面積	m2	304.89	304.89	304.89	304.89	304.89
工場等床面積	m2	698.18	698.18	698.18	698.18	698.18
収集運搬量	t	840.70	833.60	1,056.70	931.19	895.50
処理処分量	t	83.3	55.80	56.40	59.30	69.60
運搬距離	km	123,456	229,828	230,963	237,484.00	232,027.00
()						
()						
()						

(2) 化石燃料

○ ①～⑦に該当しない項目で大量に使用しているエネルギーがある場合には、⑧以降の表に入力してください。

○ 排出係数は「地球温暖化対策の推進に関する法律」の単位発熱量と炭素排出係数を用い、算出しています（「単位発熱量」×「炭素排出係数」×44/12）。【参考】二酸化炭素の分子量は44、炭素の原子量は12。

①ガソリン

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	合計	月平均
使用量	L	249.10	282.00	263.30	295.80	220.30	258.90	218.60	57.00	140.30	194.70	128.90	271.60	2,580.50	215.04
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2	577.91	654.24	610.86	686.26	511.10	600.65	507.15	132.24	325.50	451.70	299.05	630.11	5,986.76	498.90

②軽油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	合計	月平均
使用量	L	3,952.00	4,658.00	4,381.00	4,429.00	4,115.00	4,220.00	4,299.00	3,795.00	3,784.00	4,040.00	3,840.00	3,987.00	49,500.00	4,125.00
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2	10,196.16	12,017.64	11,302.98	11,426.82	10,616.70	10,887.60	11,091.42	9,791.10	9,762.72	10,423.20	9,907.20	10,286.46	127,710.00	10,642.50

③灯油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	合計	月平均
使用量	L	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

④A重油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

⑤都市ガス

排出係数： kg-CO2/m3

項目	単位	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	合計	月平均
使用量	m3														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

※都市ガスの排出係数「2.16」は地球温暖化対策推進法施行令に示された標準状態での単位発熱量を多くの地方公共団体が都市ガス供給を受ける際の一般的と考えられる条件（温度15℃、1.02気圧）の体積当りに換算した値。

4. 受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量等

(1) 産業廃棄物

○ 収集運搬量、処理量等をご記入ください。

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
廃プラスチック類	t	35.10
ガラス陶磁器くず	t	5.80
木くず	t	6.50
特定家庭用機器	t	14.50
動植物性残さ	t	10.90
合計	t	72.80

<記入例>

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
木くず	t	a
がれき類	t	b
	t	
	t	
合計	t	

自社で収集・運搬した量について記入します

自社で収集運搬した以外に他社から木くずを受け入れている等の場合は「a=c」とはなりません。

(ii) 中間処理

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量	
中間処理	廃プラスチック類	圧縮梱包	t	34.70
	動植物性残さ	肥料製造	t	10.90
再資源化等	廃プラスチック類	圧縮梱包	t	34.70
	動植物性残さ	肥料製造	t	10.90
	小計	t	45.60	
合計		t	45.60	

(ii) 中間処理

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量	
中間処理	木くず	破砕	t	c
	がれき類	破砕	t	d
再資源化等	木くず	チップ化	t	e
	がれき類	選別後路盤材化	t	f
	小計	t		
合計		t		

中間処理として受け入れた産業廃棄物の全量について、その種類毎に処理量及び処理方法等を記載します。処理方法例：破砕・選別、圧

受け入れた木くずの全量を記入します。

「c」には、受け入れた木くずのうち、チップ化して売却した

「e」には、破砕しがれき類のうち、選別し路盤材化して売却したものを記入します。破砕しがれき類のうち、再資源化により売却されなかった中間処理後の残渣については、自らが排出事業者として委託処理(中間処理又は最終処分)した全量について(iv)に記入します。

(iii) 最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
合計			

(iii) 最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
		t	
		t	
合計		t	

注の「ウ」あるいは「オ」の事業者が記入します。「カ」及び「キ」の事業者については、外部から受託した量(他社で中間処理されたもので受け入れた量)があれば、その量を記入します。

(iv) 中間処理後の産業廃棄物(最終処分・中間処理・再資源化等)

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等	
最終処分				
中間処理(再資源化等)	廃プラスチック類	固形燃料製造	t	34.70
	動植物性残さ	肥料として再生利用(売却)	t	10.90
	小計	t	45.60	
合計		t	45.60	

(iv) 中間処理後の産業廃棄物(最終処分・中間処理・再資源化等)

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等	
最終処分	焼却灰	管理型最終処分(委託)	t	g
	残渣(がれき類)	安定型最終処分(委託)	t	h
中間処理(再資源化等)	木くず	焼却(熱回収)	t	i
			t	
	小計	t		
合計		t		

中間処理後の残渣について、自らが排出事業者として委託処理(中間処理又は最終処分)した全量について、その種類毎に委託量及び処理方法等を記入します。

別表の「6. 産業廃棄物排出量等」にも併せて記入します。ただし、最終処分を事業として行っている注の「カ」及び「キ」の事業者については、中間処理後に排出される産業廃棄物のうち、自社で最終処分を行ったものについては、別表の「6. 産業廃棄物排出量等」には記入しません。

自らが排出事業者として、最終処分に委託した量及び処分方法を記載します。再度中間処理に委託した後の最終処分量も記載します。

自らが排出事業者として、再度中間処理に委託したうち、再資源化された量及び再資源化方法を記載します。

「i」には、受け入れた木くずの中間処理後の残渣について、再度中間処理に委託した量及び処理方法を記入します。

(注)「4. 受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量等の処理量等 (1) 産業廃棄物」の記入上の注意事項

自社の処理事業の範囲に合ったア〜キについて、その注意事項を確認の上、記入してください。

ア. 処理事業が「収集運搬のみ」の場合

- ・「(i) 収集運搬」の欄に必要事項を記入してください。

イ. 処理事業が「中間処理のみ」の場合

- ・「(ii) 中間処理」と「(iv) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・再資源化等）」の欄に必要事項を記入してください。
 - ・「(iv) 中間処理後の産業廃棄物」の欄に記載した量は、「6. 産業廃棄物排出量等」にも記載します。
- この場合、自らが排出事業者として、最終処分に委託した量と再度中間処理に委託した後の最終処分量を区別して記載することが望まれます。
- ・「(iv) 中間処理後の産業廃棄物」の「最終処分」の記入は、その処分が「委託」であることを同欄内に必ず明記してください。

ウ. 処理事業が「最終処分のみ」の場合

- ・「(iii) 最終処分」の欄に必要事項を記入してください。

エ. 処理事業が「収集運搬と中間処理」の場合

- ・「(i) 収集運搬」、 「(ii) 中間処理」、及び「(iv) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・再資源化等）」の欄に必要事項を記入してください。
 - ・「(iv) 中間処理後の産業廃棄物」の欄に記載した量は、「6. 産業廃棄物排出量等」にも記載します。
- この場合、受託、または受領した産業廃棄物のうちで再生利用したものと自社から排出した産業廃棄物のうち再生利用したものを区別して記載することが望まれます。
- ・「(iv) 中間処理後の産業廃棄物」の「最終処分」の記入は、その処分が「委託」であることを同欄内に必ず明記してください。

オ. 処理事業が「収集運搬と最終処分」の場合

- ・「(i) 収集運搬」と「(iii) 最終処分」の欄に必要事項を記入してください。

カ. 処理事業が「中間処理及び最終処分」の場合

- ・「(ii) 中間処理」、 「(iii) 最終処分」及び「(iv) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・再資源化等）」の欄に必要事項を記入してください。
- ・「(iii) 最終処分」には外部から受託、または受領した量（他社で中間処理されたもので受け入れた量）を記入してください。
- ・「(iv) 中間処理後の産業廃棄物」の「最終処分」には自社で中間処理したもので最終処分に回したものを記入してください。

キ. 処理事業が「収集運搬と中間処理及び最終処分」の場合

- ・「(i) 収集運搬」、 「(ii) 中間処理」、 「(iii) 最終処分」及び「(iv) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・再資源化等）」の欄に必要事項を記入してください。
- ・「(iii) 最終処分」には外部から受託、または受領した量（他社で中間処理されたもので受け入れた量）を記入してください。
- ・「(iv) 中間処理後の産業廃棄物」の「最終処分」には自社で中間処理したもので最終処分に回したものを記入してください。

(2) 一般廃棄物

○ 収集運搬量、処理量等を単位（「t」「kg」または「m3」）を付けてご記入ください。

(i) 収集運搬

廃棄物の種類		単位	収集運搬量
事業系	可燃ごみ	t	511.10
	不燃ごみ	t	149.40
	資源ごみ（古紙）	t	176.80
	資源ごみ（ ）		
	その他：		
	その他：		
合計		t	837.30
家庭系	可燃ごみ（委託）	t	8,223.50
	不燃ごみ（委託）	t	642.30
	資源ごみ（ ）		
	資源ごみ（ ）		
	その他：		
	その他：		
合計		t	8,865.80
し尿・汚泥			

(ii) 中間処理

廃棄物の種類		処理方法等	単位	処理量・処分量
中間処理	可燃ごみ			
	不燃ごみ			
	資源ごみ（ペットボトル）	圧縮梱包	t	13.30
	資源ごみ（スチール缶）	圧縮梱包	t	6.30
	資源ごみ（アルミ缶）	圧縮梱包	t	4.40
	その他：			
再資源化等				
小計				
合計		t	24.00	
中間処理後の最終処分	資源ごみ（ペットボトル）	圧縮梱包	t	13.30
	資源ごみ（スチール缶）	圧縮梱包	t	6.30
	資源ごみ（アルミ缶）	圧縮梱包	t	4.40
	合計		t	24.00

(iii) 最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
不燃ごみ			
焼却灰			
その他：			
その他：			
合計			

(3) 再生資源の回収・収集等

○ 回収・収集等運搬量を単位（「t」「kg」「台」「個」など）を付けてご記入ください。

再生資源の種類	単位	回収・収集等運搬量
金属		
古紙		
廃棄製品		
その他：		
その他：		

(4) 再生資源の再資源化等

○ 再生資源の種類毎に処理又は加工方法等をご記入ください。

○ 再資源化量及び最終処分量を単位（「t」「kg」「台」「個」など）を付けてご記入ください。

再生資源の種類	処理又は加工等方法	単位	再資源化量	最終処分量
金属				
古紙				
廃棄製品				
その他：				
その他：				

8. 化学物質使用量

- 業務（中間処理、最終処分、再生利用等の業務で使用する製品、薬剤等に含まれる化学物質（排水処理、汚泥処理、排ガス処理、収集車及び機械設備の洗浄等で用いる中和剤、凝集剤、洗剤等）を把握します。
- 把握する化学物質は、原則としてPRTR制度対象物質とします。
- 製品における化学物質の含有率は、対象となる製品の容器に記載された成分表をもとに把握できます。成分表が記載されていない場合は、製造元や卸売業者、小売業者にSDS（安全データシート）を請求し、含有率を把握してください。
- 年間使用量は、期首保管量に年間購入量を加えた量から期末保管量を差し引いたものとなります。保管量の把握が難しい場合は購入量で把握してください。

製品名／化学物質の種類		単位	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	年間購入量 (A)	期首保管量 (B)	期末保管量 (C)	年間使用量 (A+B-C)
製品名【 含有PRTR制度対象物質名 【 含有率【	購入量	kg																
	含有量	kg																
製品名【 含有PRTR制度対象物質名 【 含有率【	購入量	kg																
	含有量	kg																
製品名【 含有PRTR制度対象物質名 【 含有率【	購入量	kg																
	含有量	kg																
製品名【 含有PRTR制度対象物質名 【 含有率【	購入量	kg																
	含有量	kg																
製品名【 含有PRTR制度対象物質名 【 含有率【	購入量	kg																
	含有量	kg																

